

2020年4月1日付 韓国環境部プレスリリース

京畿道及び江原道の野生いのししからASF ウイルス検出（野生いのしし472-479例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1362720&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は、3月28日、江原道（カンウォンド）楊口郡（ヤンググン）楊口邑（ヤングウプ）で捕獲したいのしし1個体と3月30日～3月31日に江原道（カンウォンド）華川郡（ファチョングン）華川邑（ファチョンウプ）、京畿道（キョングド）漣川郡（ヨンチョングン）旺澄面（ワンジンミョン）、新西面（シンソミョン）および長南面（チャンナムミョン）、坡州市（パジュシ）津東面（チンドンミョン）で発見されたいのしし死体7個体からASF ウイルスが検出されたと4月1日明らかにした。

□国立環境科学院は4月1日いのしし8個体からASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡（ファチョングン）187件、漣川郡（ヨンチョングン）181件、坡州市（パジュシ）86件、鉄原郡（チョルウォングン）23件、楊口郡（ヤンググン）2件、合計479件のいのししASF 陽性事例となった。

○野生いのししASF 標準の行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回陽性となったいのししは全て広域フェンスの中で発見され、他にも感染個体が存在するのかわ確認するため、捜索を継続する」と明らかにした。

以上